

ミツワハガネ株式会社

航空機産業で培った技術と地域連携の強みを活かし、医療や福祉のものづくりに取り組みます。

技術・製品紹介

これまで培った特殊鋼鋼材に関する専門知識と卓越した製造技術を継続し、それを後世に継承するべく日々努力し学び続けます。
地域の皆様に愛され、貢献できる企業を目指し、より一層精進してまいります。

医療福祉機器部品加工

医療福祉機器の部品・部材等の精密加工のご相談をお待ちしています。



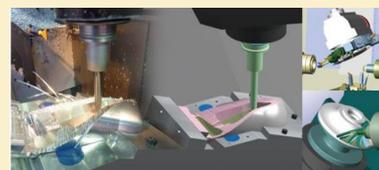
航空宇宙産業クラスの品質管理

特殊鋼鋼材に関する専門知識と卓越した製造技術と品質管理体制で、ご要望にお応えします。



3Dによる加工・シミュレーションに対応

金属 3D プリントなど、医療福祉機器の開発・製造に求められる新たな設備投資も積極的におこなっています。



会社概要

所在地 〒882-0071 宮崎県延岡市天下町 1213 番地 622

電話番号 (0982) 23-5234

資本金 10,000,000 円

設立 1978 年 4 月

代表者 代表取締役会長 甲斐 千尋
代表取締役社長 吉ノ菌 順也

事業内容

- ・精密機械部品加工 / 組立
- ・航空機部品加工
- ・特殊鋼鋼材販売

<精密機械部品製造>

- ・省力化機械用精密機械部品製造
- ・半導体用精密機械部品・金型・治工具
- ・航空機部品・真空装置・製造装置用部品製造
- ・エンジン組立用パレット・プレス機械部品製作

- ・チャンネル切断金型
- ・その他一般産業用機械部品製造・組立一式

<特殊鋼鋼材販売>

構造用鋼、工具鋼・特殊用途鋼、ドリルロット
磨ゲージ鋼板、磨丸、ステンレス鋼、金型用プレート
鋼管、真鍮、アルミニウム、銅、非鉄金属他
多種

資格・特許等 ISO9001、JIS Q9100

ホームページ <https://mitsuwa-hagane.co.jp/>

カンファレンスパーク

メッセージは、カンファレンスパークで受け付けています

<https://conference-park.jp/base/185>



ミツワハガネ株式会社

医療における未来の中で「人々の夢をカタチにする」お手伝いが

見たよ

↑クリックするとメッセージを送ることができます

航空宇宙の品質で医療福祉分野へ新たな挑戦

航空機産業で躍進するミツワハガネ株式会社は、1959年に一般用建築鋼材の販売で創業し、特殊鋼鋼材販売、機械加工部門へと事業を拡大してきた。「ものづくりから夢づくりへ」という思いのもと、2019年から医療や福祉分野への展開を図り、専門の開発部門を立ち上げるべく、社内に検討委員会を置いた。新規参入を目指す同社代表取締役社長の吉ノ菌 順也さんにこれまでの経緯とこれからの取り組みについて話を伺った。

身近にある「あったらいいな」を叶えたい

ミツワハガネが最初に検討したのは、体内に埋め込む人工関節だった。航空機産業で培った技術を応用して医療機器産業に参入を果たした同業他社に倣い、可能性を模索した。関連する医療機器メーカーとの商談を重ね、異業種から医療分野に新規参入したものづくり企業にも訪問するなどして、自社の既存事業との兼ね合いや新体制のあり方を検討してきた。社内の声も集め、一つの答えとして、2022年の春、目標にしていた人工関節から、もっと生活に身近なところに視点を広げることにした。具体的には、高齢者が自宅で安全に筋トレができるツール、転びにくい杖に加え、子育て世代の従業員からは知育玩具など、さまざまなアイデアが出された。高齢者向けの筋トレツールと杖については、具体的な構造が検討され、3年を目処にカタチにできそうだ。医療福祉機器の部品・部材の精密加工に加え、使う人の生活スタイルがわかるような製品開発を手掛けることで、構想から知財の検討、現場検証等のプロセスをより身近に捉えやすくなる。

横連携で医療福祉分野の製品開発を目指す

受託で技術を磨いてきたミツワハガネにとっての挑戦は、「製品のアイデアを構想から練り上げること」と吉ノ菌さんは話す。与えられた図面どおりに忠実に作り、技術的な提案もできる。シンプルであれば設計もできる。金属以外の素材や部品が必要であれば協力をしてくれるサプライヤーはいる。専属スタッフを配置する形で開発部門を立ち上げる時に、自社の技術だけにアイデアを絞らず、宮崎県北部の横連携を生かしたものづくりを視野に入れていく。また、2022年8月、同社は「宮崎県次世代リーディング企業」に選定された。これは、宮崎県産業振興機構が、人口減少やパンデミックなど外部環境の変化により社会的・経済的

に及ぼしうる影響に対応するため、新たな事業活動に挑戦し、そこで生まれるビジネスモデルが県内企業の模範となるなど、中長期的に地域の経済をリードすることが見込まれ、その高い意欲を持つ企業を選定したものだ。吉ノ菌さんも、これをきっかけに、宮崎大学と連携した取り組みができることに期待を寄せる。

新規参入するからこそ、社内を巻き込みたい。親の介護や子育てをする従業員らが、ものづくりを通じてお互いを助け合うような場にしたいという。同社の「かたちないものをカタチに」という企業姿勢は、医療福祉の分野にも広がっている。



工場見学に来た地元の小学生の作品



記念撮影での人気スポット

SNSを活用した情報発信強化も視野に

同社ではInstagram等を活用した情報発信にも力を入れている。Twitterで製品開発のヒントを探索するなど、SNS活用の幅を広げることも新事業の立ち上げのツールとして検討している。